

編集後記

2018年12月号（第35卷第2号）をお届けいたします。昨年度より3週間早くJAFIA事務局に印刷用原稿をお送りすることができました。このペースで、懸案となっている発行遅延の解消に向け、次巻ではさらに締めを早めたいと考えています。執筆者の皆様には、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

巻頭言では、JAFIA委員長を退任された今任稔彦先生からご挨拶をいただきました。高知大院教育の森勝伸先生からは、「イオンクロマトグラフィーにおけるフローインジェクション分析の利用」と題した巻頭言をいただきました。指標には徳島大院社会産業理工の水口仁志先生から「初心者としての経験から」と題してご寄稿いただきました。神戸大院海事科学の堀田弘樹先生には、ミニレビュー”Evaluation of Antioxidant Activity by Flow Injection Analysis with Electrochemical Detection”をご執筆いただきました。原著論文およびノートには各1報の投稿がありました。迅速な審査にご協力いただいた先生方に厚く御礼申し上げます。九州大院工の石松亮一先生には、解説「電気化学発光の解析のポイント」をご執筆いただきました。トピックスには熊本大院先端科学の大平慎一先生と徳島大院先端技術科学の小林拓真様よりご寄稿いただきました。(株)小川商会の樋口慶郎博士からは2018JAIMAセミナーの、芝浦工大工の正留隆先生からは第55回フローインジェクション分析講演会の、岡山大院自然科学の谷夢希様からはFlow Analysis 2018の報告記事をいただきました。学会情報は徳島大院医歯薬(薬)の竹内政樹先生にお願いいたしました。

来年度の*J. Flow Injection Anal.*は創刊35周年の記念号となります。2018年11月15日に東京にて開催された編集委員会では、「解説やミニレビューなど、どなたかに執筆を依頼するのではなく、編集委員には原著論文やノート、あるいは解説、ミニレビュー、トピックスなど、いずれかのカテゴリーで最低1報は貢献していただきたいよう呼びかける」ということになりました。JAFIA会員の皆様には、本誌の発展のためにお力添えいただきたく、以下の通りお願い申し上げます。

JAFIA会員の皆様へのお願い

1. 創刊35周年を迎えるVol. 36(2019)は、「35周年記念号」と銘打って、原著論文をはじめ多くの記事を集めたいと存じます。*J. Flow Injection Anal.*には、総説、ミニレビュー、原著論文、ノート(2018年の投稿規定改定により新設; 詳細はVol. 35(1), pp.20-21をご参照下さい),解説、トピックス、報告、新刊紹介など、さまざまなカテゴリーがあります。JAFIA会員の皆様には、Vol. 36ではいずれかのカテゴリーで1報あるいはそれ以上の貢献をしていただけますと誠に有り難く存じます。よろしくお願ひ申し上げます。
2. J-STAGEの*J. Flow Injection Anal.*のページ(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jfia/-char/ja>)を開き、より多くの論文を閲覧してくださいますようお願いいたします。(閲覧数が少ないと由々しきことになるのかどうかは存じませんが、せっかく*J. Flow Injection Anal.*のJ-STAGE登載が実現したのですから)。

JFIA 編集委員長 田中秀治